TOSHIBA
Leading Innovation >>>

東芝デジタル複合機

Backup/Restore Utility
取扱説明書

●このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきましてまことにありがとうございます。
●お使いになる前に取扱説明書をよくお読みください。お読みになった後は必ず保管してください。

©2008, 2009 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved
本書は、著作権法により保護されており、東芝テック株式会社の承諾がない場合、本書のいかなる部分もその複写、複製を禁じます。本書中の情報の使用については特許に関する法的責任は生じないものとします。

はじめに

このたびは東芝デジタル複合機をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。
この取扱説明書は、Backup/Restore Utilityの操作や設定について説明しています。
これらの機能を使用する前に、この取扱説明書をよくお読みください。また、これらの機能を最良の状態でお使いいただくために、この取扱説明書をいつもお手元に置いて有効にご活用ください。

■ 本書の読みかた

□ 本文中の記号について

本書では、重要事項には以下の記号を付けて説明しています。これらの内容については必ずお読みください。

⚠警告	「誤った取り扱いをすると人が死亡する、または重傷[*1]を負う可能性があること」を示しています。
⚠注意	「誤った取り扱いをすると人が傷害[*2]を負う可能性、または物的損害[*3]のみが発生する可能性があること」を示しています。
注意	操作するうえでご注意いただきたい事柄を示しています。
補足	操作の参考となる事柄や、知っておいていただきたいことを示しています。
📖	関連事項を説明しているページを示しています。必要に応じて参照してください。

＊1　重傷とは、失明やけが・やけど（高温・低温）・感電・骨折・中毒などで、後遺症が残るものおよび治療に入院・長期の通院を要するものを指します。
＊2　傷害とは、治療に入院や長期の通院を要さない、けが・やけど・感電を指します。
＊3　物的損害とは、財産・資材の破損にかかわる拡大損害を指します。

□ 本文中の画面について

本書に掲載されるスクリーンショットは、すべてWindows Vistaで表示される例です。オプション機器の装着状況など、ご使用の環境によって異なる場合があります。

□ 商標について

本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。
- Windows 2000の正式名称は、Microsoft Windows 2000 Operating Systemです。
- Windows XPの正式名称は、Microsoft Windows XP Operating Systemです。
- Windows Vistaの正式名称は、Microsoft Windows Vista Operating Systemです。
- Windows Server 2003の正式名称は、Microsoft Windows Server 2003 Operating Systemです。
- Windows Server 2008の正式名称は、Microsoft Windows Server 2008 Operating Systemです。
- Microsoft、Windows、Windows NT、またはその他のマイクロソフト製品の名称及び製品名は、米国 Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Apple、AppleTalk、Macintosh、Mac、Mac OS、Safari、TrueTypeおよびLaserWriterは、米国Apple Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Adobe、Adobe Acrobat、Adobe Reader、Adobe Acrobat Reader およびPostScriptは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の商標です。
- Mozilla、Firefox、Firefoxロゴは、米国Mozilla Foundationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- IBM、ATおよびAIXは、International Business Machines Corporationの商標です。
- NOVELL、NetWare、NDSは米国NOVELL, Inc.の商標または登録商標です。
- TopAccessは、東芝テック株式会社の登録商標です。
- その他、本書に掲載されている会社名、製品名は、それぞれの会社の商標または登録商標である場合があります。

目次

はじめに 1

第1章　基本操作

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityの基本操作 6
- ファイリングボックスBackup/Restore Utilityの起動 6
- ファイリングボックスデータのバックアップ 12
- ファイリングボックスのリストア 18

第2章　便利な機能

東芝複合機の複数登録/切り替え 22
- 東芝複合機の複数登録 22
- 東芝複合機の接続切り替え 22

ネットワーク検索設定の変更 23
- 検索条件の絞り込み 23
- SNMP設定の変更 24

索引 25

1

基本操作

この章では、ファイリングボックスBackup/Restore Utilityの基本操作について説明します。

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityの基本操作 6
ファイリングボックスBackup/Restore Utilityの起動 6
ファイリングボックスデータのバックアップ 12
ファイリングボックスのリストア 18

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityの基本操作

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityを使用すると、東芝複合機のファイリングボックスデータ（画像データ/各種設定データ）をバックアップおよびリストアすることができます。

📖 P.6「ファイリングボックスBackup/Restore Utilityの起動」
📖 P.12「ファイリングボックスデータのバックアップ」
📖 P.18「ファイリングボックスのリストア」

この取扱説明書で操作対象としている東芝複合機は、以下のとおりです。

e-STUDIO4520C Series：e-STUDIO2330C/2830C/3520C/4520C
e-STUDIO6530C Series：e-STUDIO5520C/6520C/6530C
e-STUDIO455 Series：e-STUDIO255/355/455
e-STUDIO855 Series：e-STUDIO655/755/855

注 意

- ファイリングボックスデータをバックアップまたはリストアするためには、本機のFTPサーバー設定が有効になっている必要があります。FTPサーバー設定は、TopAccessのネットワーク設定で行います。操作の詳細は、**TopAccessガイド**を参照してください。
- バックアップしたデータは、同一シリーズの機種に対しては互換性がありますが、他シリーズの機種に対しては互換性がありません。たとえば、e-STUDIO4520Cからバックアップしたデータは、e-STUDIO4520C Seriesの各機種へリストアすることができますが、e-STUDIO6530C Series、e-STUDIO455 Series、e-STUDIO855 Seriesの各機種へリストアすることはできません。

■ ファイリングボックスBackup/Restore Utilityの起動

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityを起動します。

1 スタートボタン→［すべてのプログラム］→［TOSHIBA e-STUDIOクライアント］→［TOSHIBA e-STUDIO BackUp-Restore］を選択します。

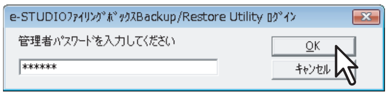
［e-STUDIOファイリングボックスBackup/Restore Utilityログイン］ダイアログボックスが表示されます。

注 意

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityをはじめて起動する場合や東芝複合機への接続がセットアップされていない場合は、［ローカル検索］ダイアログボックスが表示されます。このダイアログボックスが表示された場合は、東芝複合機への接続を設定してください。

📖 P.7「はじめて起動するとき」

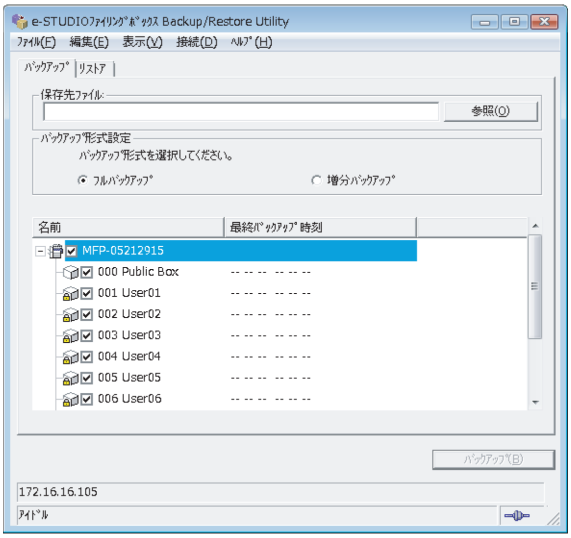
2 管理者パスワードを入力し、［OK］をクリックします。



補 足

ここで入力する管理者パスワードは、接続先の東芝複合機に設定されている管理者パスワードです。

3 **メインウィンドウが表示されます。**



メインウィンドウの使いかたについては、以下のページを参照してください。

P.10 「メインウィンドウの使用方法」

□ はじめて起動するとき

はじめてファイリングボックスBackup/Restore Utilityを起動すると、［ローカル検索］ダイアログボックスが表示されます。表示された場合は、このダイアログボックスを使ってお使いの東芝複合機への接続をセットアップします。
接続をセットアップするには、ネットワーク上の東芝複合機を検索するか、または東芝複合機のネットワークアドレスを直接入力します。

P.7 「検索して接続をセットアップする」
P.9 「手動で接続をセットアップする」

補 足

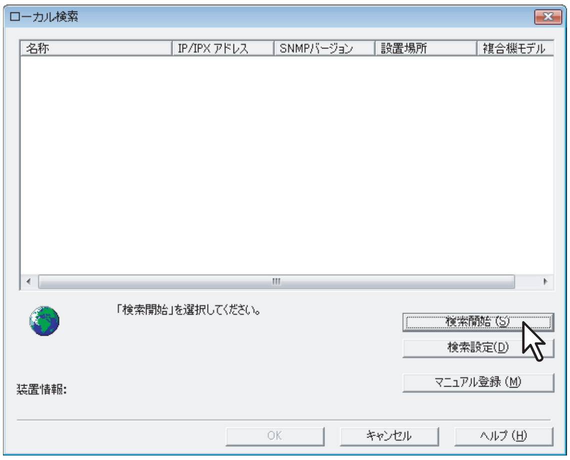
ファイリングボックスBackup/Restore Utilityでは、ファイリングボックスデータをバックアップまたはリストアする東芝複合機を変更できます。対象とする東芝複合機を変更する場合は、本機能を使って他の東芝複合機への接続を登録します。

P.22 「東芝複合機の複数登録」

検索して接続をセットアップする

ここでは、Windows Vistaで操作する例で説明します。別のバージョンのWindowsをお使いの場合も手順は同じです。

1 **［ローカル検索］ダイアログボックスで［検索開始］をクリックします。**



ネットワーク上の東芝複合機がすべて検索されます。

2 検索処理が終了すると、検索された東芝複合機が一覧表示されます。

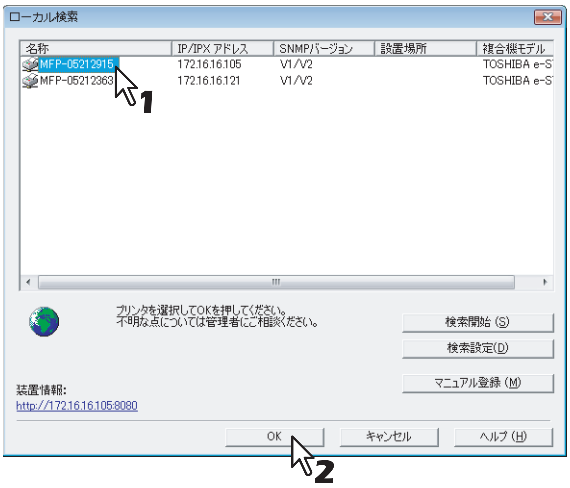
補 足

- 検索処理を中止する場合は、［検索中止］をクリックしてください。
- 異なるネットワーク・セグメントの東芝複合機は検索されない場合があります。この場合には、東芝複合機のIPアドレスを手動で入力して検索を行ってください。
  P.9 「手動で接続をセットアップする」
- ネットワーク上に多くのクライアントが存在する場合、検索処理に時間が長くかかることがあります。その場合は、［検索設定］をクリックし、検索設定を変更してください。
  P.23 「検索条件の絞り込み」

注 意

- IPX/SPXネットワーク上の東芝複合機は、検出されません。
- SNMP設定により目的の東芝複合機が検出されない場合があります。この場合には、［SNMP設定］ダイアログボックス上で設定を確認し、必要に応じて設定を変更してください。
  P.24 「SNMP設定の変更」

3 一覧から目的の東芝複合機の名称を選択し、［OK］をクリックします。



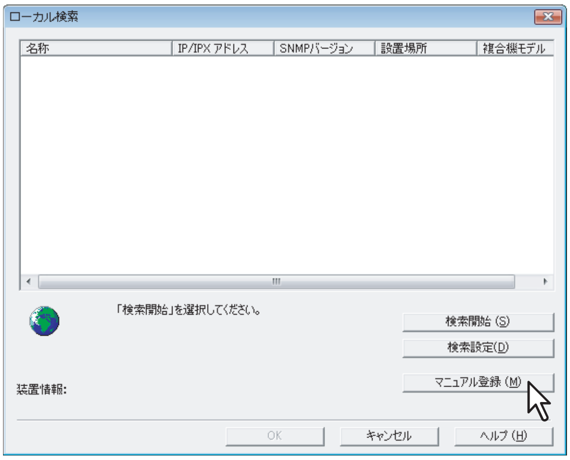
選択した東芝複合機に接続し、［e-STUDIOファイリングボックス Backup/Restore Utilityログイン］ダイアログボックスが表示されます。

補 足

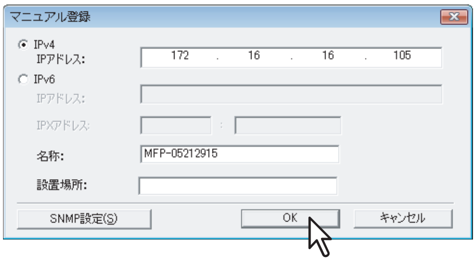
目的の東芝複合機が検出されなかった場合は、東芝複合機のIPアドレスを手動で入力して検索を行ってください。
P.9 「手動で接続をセットアップする」

手動で接続をセットアップする

1 ［ローカル検索］ダイアログボックスで［マニュアル登録］をクリックします。



2 以下の項目を入力し、［OK］をクリックします。

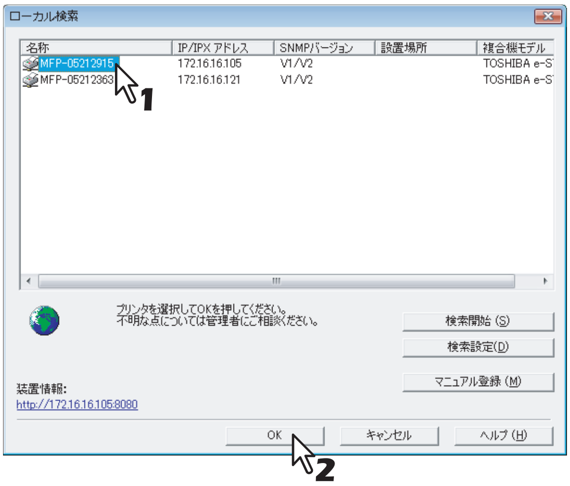


IPv4 IPアドレス：このオプションを選択した場合は、お使いの東芝複合機のIPv4アドレスを入力します。
IPv6 IPアドレス：このオプションを選択した場合は、お使いの東芝複合機のIPv6アドレスを入力します。
IPXアドレス：ファイリングボックスBackup/Restore Utilityは、IPX/SPX接続をサポートしていないため、この項目は無効になります。
名称：お使いの東芝複合機の装置名を入力します。
設置場所：お使いの東芝複合機の設置場所を入力します。
［SNMP設定］：クリックすると、［SNMP設定］ダイアログボックスが表示され、SNMP設定を確認または変更できます。
P.24「SNMP設定の変更」

注 意

［名称］および［IPアドレス］ボックスへの入力は必須です。

3 **手順2で指定した東芝複合機が一覧に追加されます。その東芝複合機の名称を選択し、[OK]をクリックします。**



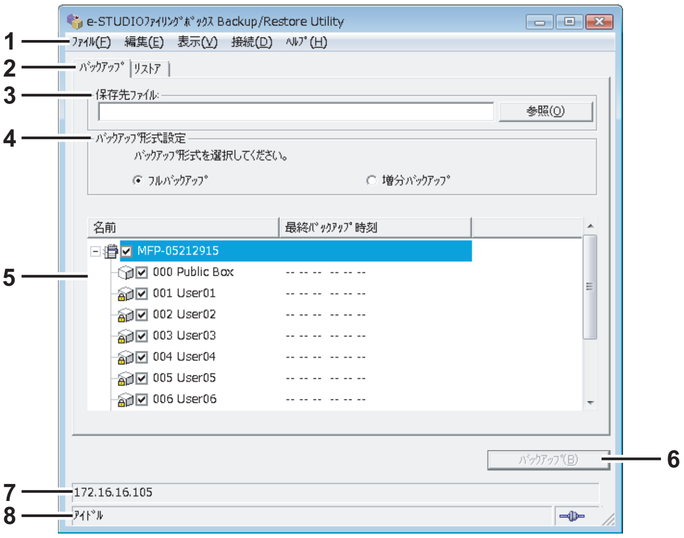
選択した東芝複合機に接続し、[e-STUDIOファイリングボックス Backup/Restore Utilityログイン]ダイアログボックスが表示されます。

注 意

SNMP設定により目的の東芝複合機が検出されない場合があります。この場合には、[SNMP設定]ダイアログボックス上で設定を確認し、必要に応じて設定を変更してください。
📖 P.24 「SNMP設定の変更」

□ メインウィンドウの使用方法

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityを起動し、管理者パスワードでログインすると、メインウィンドウが表示されます。このウィンドウから、ファイリングボックスBackup/Restore Utility機能を操作します。



1) **メニューバー**

以下のメニューから目的の機能を選択します。

ファイルメニュー：

- **バックアップ**：クリックすると、[バックアップ]タブが表示されます。[リストア]タブを表示しているときのみ有効です。
- **リストア**：クリックすると、[リストア]タブが表示されます。[バックアップ]タブを表示しているときのみ有効です。
- **自動バックアップ**：自動バックアップ機能を設定します。[バックアップ]タブを表示しているときのみ有効です。
📖 P.15 「自動バックアップ」
- **終了**：ファイリングボックスBackup/Restore Utilityを終了します。

編集メニュー：
- **すべて選択**：コンテンツウィンドウに表示されているすべてのチェックボックスをオンにします。
- **すべてクリア**：コンテンツウィンドウに表示されているすべてのチェックボックスを解除します。

表示メニュー：
- **更新**：コンテンツウィンドウの情報を更新します。

接続メニュー：
- **接続先の検索**：接続する東芝複合機を新たに登録し直す場合にクリックします。選択すると［ローカル検索］ダイアログボックスが表示されます。
  📖 P.22「東芝複合機の複数登録」
- **接続先の選択**：接続先の東芝複合機を変更する場合にクリックします。
  📖 P.22「東芝複合機の接続切り替え」
- **ファイリングボックスの初期化**：ファイリングボックスデータをリストアする前に、東芝複合機のファイリングボックスを初期化する場合にクリックします。［リストア］タブを表示しているときのみ有効です。
  📖 P.20「ファイリングボックスの初期化」

ヘルプメニュー：
- **ヘルプ**：オンラインヘルプを起動する場合にクリックします。
- **バージョン情報**：バージョン情報を表示する場合にクリックします。

2) バックアップ／リストアタブ
ファイリングボックスデータのバックアップを操作する場合は、［バックアップ］タブをクリックします。
ファイリングボックスデータのリストアを操作する場合は、［リストア］タブをクリックします。

3) 保存先ファイル
［バックアップ］タブを表示している場合は、バックアップファイル名を入力します。
［リストア］タブを表示している場合は、リストアするバックアップファイル名を入力します。

4) バックアップ形式設定／バックアップ情報
［バックアップ］タブを表示している場合は、バックアップ形式設定が表示されます。バックアップ形式設定では、バックアップ形式を選択します。
- **フルバックアップ**：選択したファイリングボックスに含まれるすべてのデータをバックアップします。
- **増分バックアップ**：前回バックアップ時から更新されたデータのみをバックアップします。

［リストア］タブを表示している場合は、［保存先ファイル］ボックスで指定したバックアップファイルのバックアップ情報が表示されます。

5) コンテンツウィンドウ
［バックアップ］タブを表示している場合は、接続している東芝複合機のファイリングボックスを表示します。
［リストア］タブを表示している場合は、［保存先ファイル］ボックスで指定したバックアップファイルに含まれているファイリングボックスを表示します。

6) ［バックアップ］／［リストア］
［バックアップ］タブを表示している場合は、［バックアップ］が表示されます。クリックすると、東芝複合機からファイリングボックスデータをバックアップします。
📖 P.12「手動バックアップ」
［リストア］タブを表示している場合は、［リストア］が表示されます。クリックすると、東芝複合機へファイリングボックスデータをリストアします。
📖 P.18「ファイリングボックスのリストア」

7) IPアドレス
接続している東芝複合機のIPアドレスが表示されます。

8) ステータスバー
接続している東芝複合機の状況や接続状況が表示されます。

■ ファイリングボックスデータのバックアップ

お使いの東芝複合機からファイリングボックスデータをバックアップします。データのバックアップ方法には、以下の2つの方法があります。

P.12 「手動バックアップ」
P.15 「自動バックアップ」

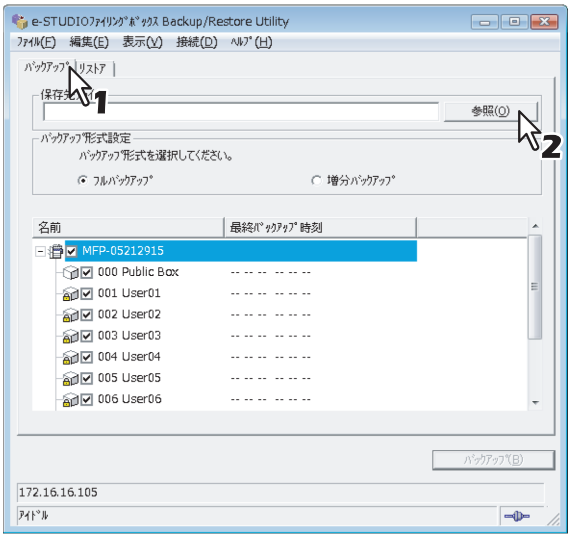
注 意

- 一度にバックアップするデータサイズは4 GB未満にしてください。
- ファイリングボックス Web ユーティリティまたは東芝複合機の操作パネルでファイリングボックスにアクセスしている場合、および東芝複合機でジョブを処理中の場合は、ファイリングボックスデータのバックアップは操作できません。ファイリングボックスデータのバックアップを操作する前に、ファイリングボックスにアクセスしているユーザがいないこと、また東芝複合機でジョブを処理中でないことを確認してください。
- ファイリングボックスデータのバックアップ中は、東芝複合機の操作パネルを操作できなくなります。（操作パネルには「サービス中」と表示されます。）また、TopAccessやファイリングボックスWebユーティリティにアクセスできなくなります。
- ファイリングボックスデータのバックアップ中は、受信した印刷ジョブやネットワークファクスジョブ、受信ファクスなどは東芝複合機に蓄積され、ファイリングボックスデータのバックアップを完了するまで待機します。
- ファイリングボックスデータのバックアップには数時間かかることもあります。ファイリングボックスデータのバックアップ中に、印刷、ファクス、ネットワークファクスなどのジョブを大量に受信すると、ジョブフルエラーが発生することがあります。

□ 手動バックアップ

東芝複合機からファイリングボックスデータを手動でバックアップする場合は、以下の手順で行います。

1 ［バックアップ］タブを表示し、［参照］をクリックします。

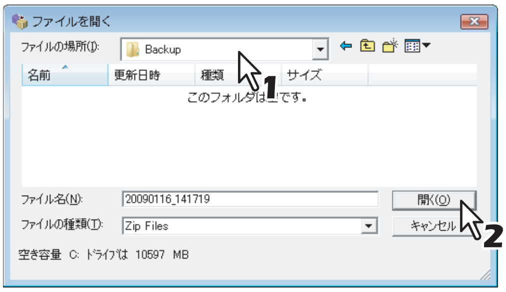


［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示されます。

注 意

［保存先ファイル］ボックスには、バックアップファイルを保存するパスを直接入力することもできます。ただし、バックアップファイルを保存するフォルダのパスにIPアドレスが含まれている場合には、データの保存は実行できません。ネットワークパスを指定する場合は、IPアドレスを使用せずに指定してください。

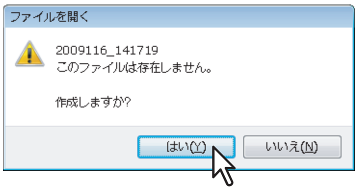
2 バックアップファイルを保存するフォルダを選択し、必要に応じてファイル名を変更して、［開く］をクリックします。



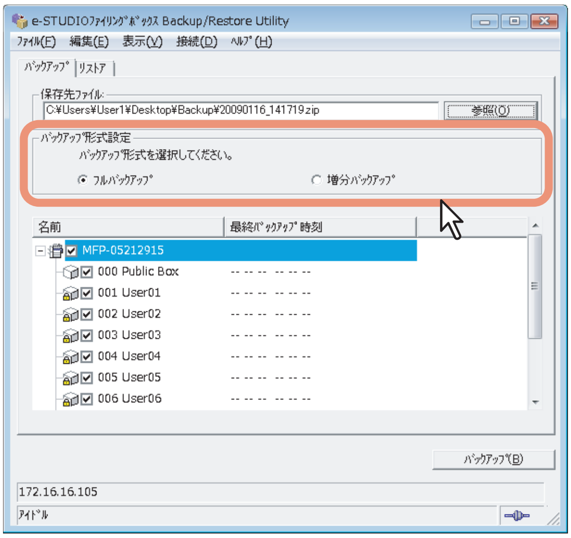
補 足

- バックアップファイルを保存するフォルダは、事前に作成してください。
- バックアップファイルはZIP形式で保存されます。

3 ［はい］をクリックします。

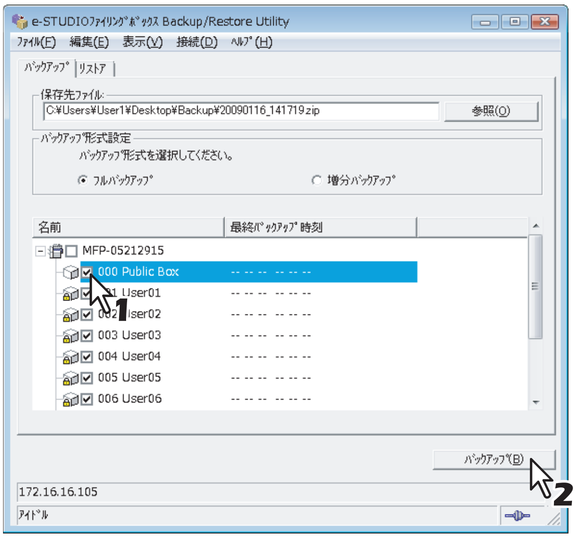


4 バックアップ形式を選択します。



フルバックアップ：選択したすべてのファイリングボックスに保管されているデータをバックアップします。
増分バックアップ：前回バックアップ時から更新されたデータのみをバックアップします。

5 バックアップするファイリングボックスのチェックボックスをオンにし、[バックアップ] をクリックします。

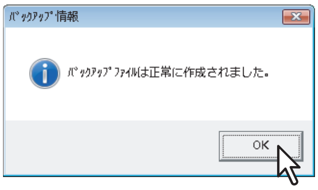


バックアップ処理を開始します。バックアップを完了すると、[バックアップ情報] ダイアログボックスが表示されます。

注 意

バックアップをする前に、お使いのコンピュータにバックアップファイルを保存するための十分な空き容量があることを確認してください。バックアップファイルは、最大でファイリングボックスの容量と同程度になることがあります。

6 [OK] をクリックします。



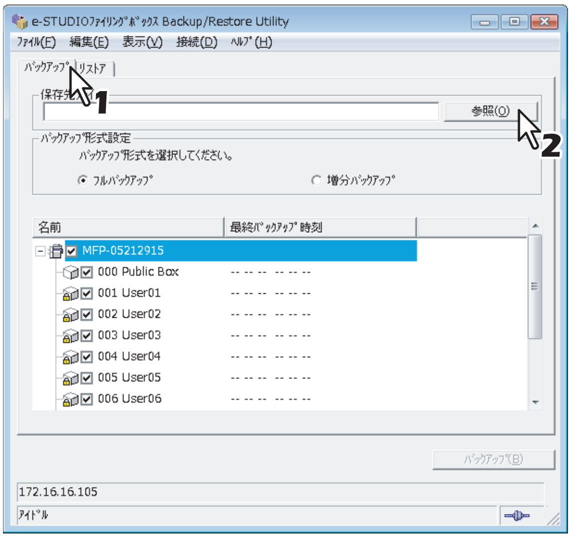
□ 自動バックアップ

自動バックアップ機能を使うと、ファイリングボックスデータをバックアップするスケジュールを設定できます。

注 意

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityを終了すると、自動バックアップの設定がクリアされて無効となります。定期的な自動バックアップを設定する場合は、終日稼働しているクライアントコンピュータにてファイリングボックスBackup/Restore Utilityを常時起動しておける環境を準備してください。

1 **［バックアップ］タブを表示し、［参照］をクリックします。**

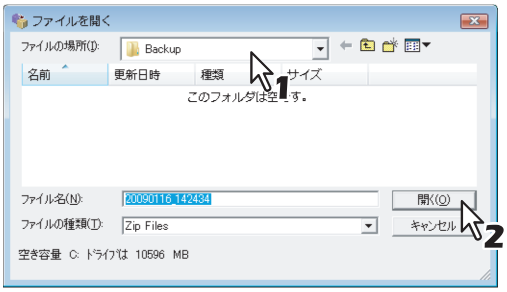


［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示されます。

注 意

「保存先ファイル」ボックスには、バックアップファイルを保存するパスを直接入力することもできます。ただし、バックアップファイルを保存するフォルダのパスにIPアドレスが含まれている場合には、データの保存は実行できません。ネットワークパスを指定する場合は、IPアドレスを使用せずに指定してください。

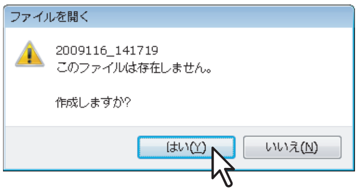
2 **バックアップファイルを保存するフォルダを選択し、必要に応じてファイル名を変更して、［開く］をクリックします。**



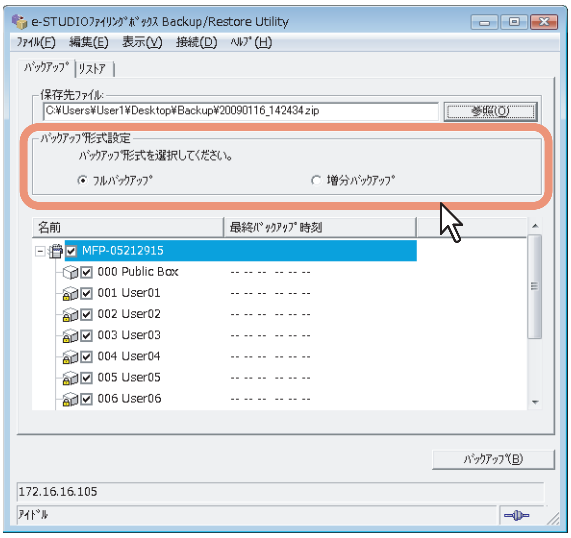
補 足

- バックアップファイルを保存するフォルダは、事前に作成してください。
- バックアップファイルはZIP形式で保存されます。

3 ［はい］をクリックします。

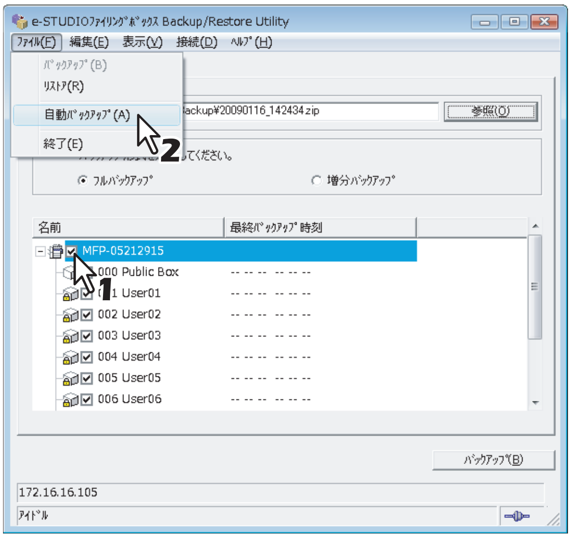


4 バックアップ形式を選択します。



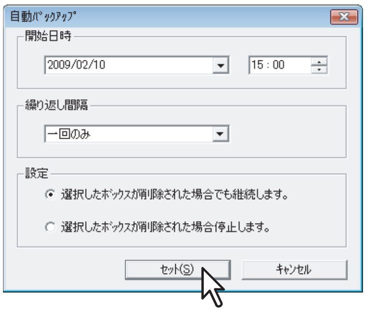
フルバックアップ：選択したすべてのファイリングボックスに保管されているデータをバックアップします。
増分バックアップ：前回バックアップ時から更新されたデータのみをバックアップします。

5 バックアップするファイリングボックスのチェックボックスをオンにし、［ファイル］メニューの［自動バックアップ］をクリックします。



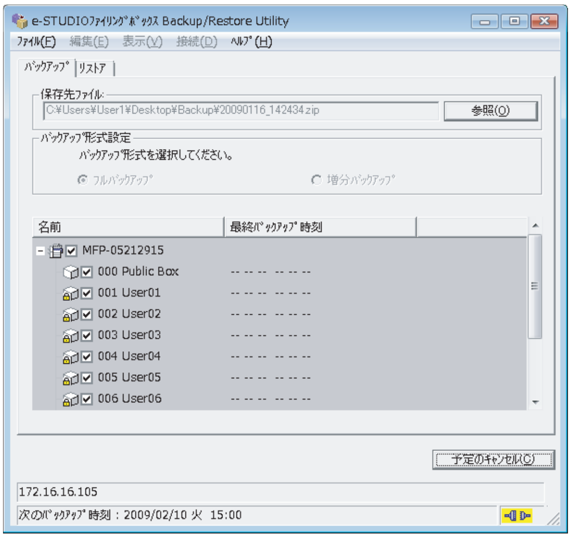
［自動バックアップ］ダイアログボックスが表示されます。

6 下記項目を設定し、[セット]をクリックします。



開始日時：自動バックアップを開始する日付および時刻を指定します。ただし、6か月以上先の日時は指定できません。
繰り返し間隔：指定したスケジュールで自動バックアップを実行する間隔を 「一回のみ」「毎日」「毎週」「毎月」から選択します。
設定：自動バックアップ実行時に、選択したファイリングボックスが存在しない場合に、自動バックアップを継続するか、もしくは停止するかを選択します。

7 自動バックアップが有効になり、メインウィンドウの操作を無効にします。



補 足

自動バックアップを無効にするには、[予定のキャンセル]をクリックするか、[ファイル]メニューの[終了]をクリックします。

■ ファイリングボックスのリストア

東芝複合機にファイリングボックスデータをリストアする場合は、以下の手順で行います。

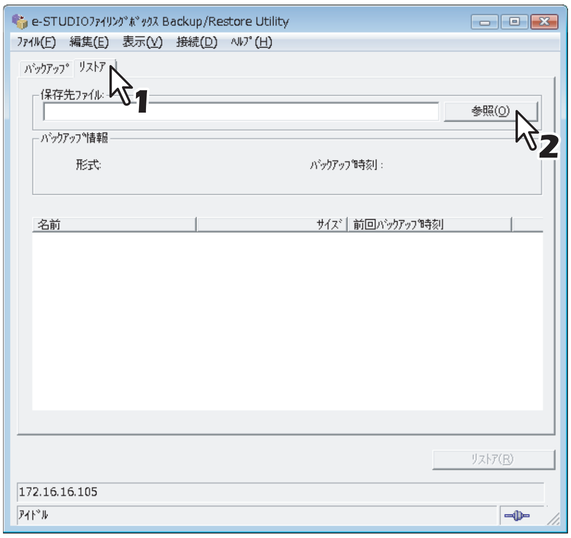
注 意

- ファイリングボックス Web ユーティリティまたは東芝複合機の操作パネルでファイリングボックスにアクセスしている場合、および東芝複合機でジョブを処理中の場合は、ファイリングボックスデータのリストアは操作できません。ファイリングボックスデータのリストアを操作する前に、ファイリングボックスにアクセスしているユーザがいないこと、また東芝複合機でジョブを処理中でないことを確認してください。
- ファイリングボックスデータのリストア中は、東芝複合機の操作パネルを操作できなくなります。（操作パネルには「サービス中」と表示されます。）また、TopAccessやファイリングボックスWebユーティリティにアクセスできなくなります。
- ファイリングボックスデータのリストア中は、受信した印刷ジョブやネットワークファクスジョブ、受信ファクスなどは東芝複合機に蓄積され、ファイリングボックスデータのリストアを完了するまで待機します。
- ファイリングボックスデータのリストアには数時間かかることもあります。ファイリングボックスデータのリストア中に、印刷、ファクス、ネットワークファクスなどのジョブを大量に受信すると、ジョブフルエラーが発生することがあります。

補 足

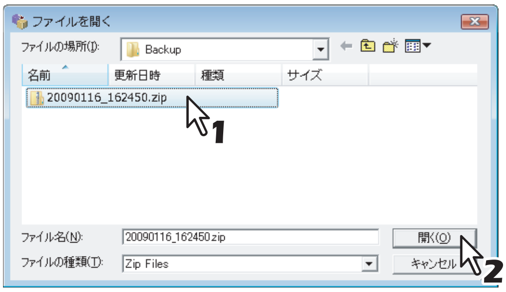
東芝複合機のファイリングボックスデータをすべて削除してからファイリングボックスデータをリストアする場合は、リストアする前にファイリングボックスの初期化を行ってください。
P.20 「ファイリングボックスの初期化」

1 ［リストア］タブを表示し、［参照］をクリックします。

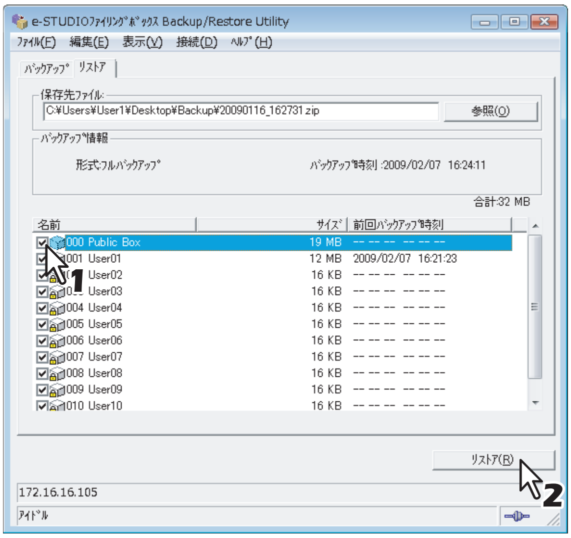


［ファイルを開く］ダイアログボックスが表示されます。

2 リストアするバックアップファイルを選択し、［開く］をクリックします。

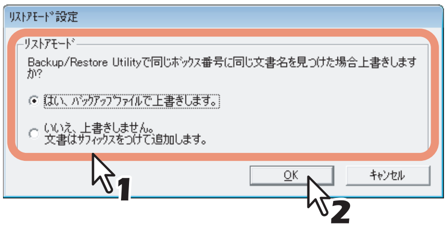


3 リストアするファイリングボックスのチェックボックスをオンにし、［リストア］をクリックします。



［リストアモード設定］ダイアログボックスが表示されます。

4 同名の文書が存在する場合に、バックアップファイルで上書きするかしないかを選択し、［OK］をクリックします。

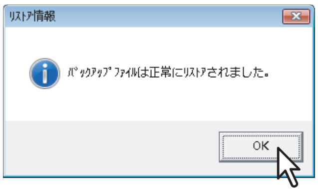


リストア処理を開始します。リストアを完了すると、［リストア情報］ダイアログボックスが表示されます。

注 意

バックアップファイルに含まれているファイリンスボックスと同番号のファイリングボックスが東芝複合機に存在する場合、ボックス名称やパスワードなどの設定は、バックアップファイルからリストアさせず、東芝複合機に存在しているものをそのまま使用します。

5 ［OK］をクリックします。



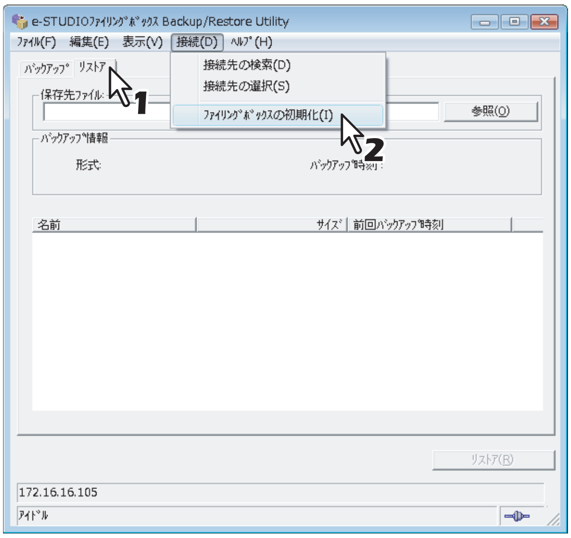
□ ファイリングボックスの初期化

リストアする前に東芝複合機のファイリングボックスデータをすべて削除する場合は、以下の手順でファイリングボックスの初期化を行います。

注 意

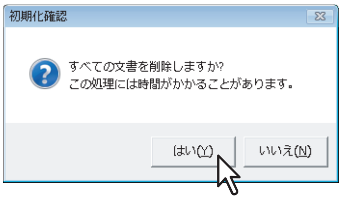
ファイリングボックスWebユーティリティまたは東芝複合機の操作パネルでファイリングボックスにアクセスしている場合、および東芝複合機でジョブを処理中の場合は、ファイリングボックスの初期化は操作できません。ファイリングボックスの初期化を操作する前に、ファイリングボックスにアクセスしているユーザがいないこと、および東芝複合機でジョブを処理中でないことを確認してください。

1 **［リストア］タブを表示し、［接続］メニューの［ファイリングボックスの初期化］をクリックします。**



［初期化確認］ダイアログボックスが表示されます。

2 **［はい］をクリックします。**



ファイリングボックスの初期化を開始し、すべてのファイリングボックスデータを削除します。

2

便利な機能

この章では、ファイリングボックスBackup/Restore Utilityの便利な機能について説明します。

東芝複合機の複数登録/切り替え 22
東芝複合機の複数登録 22
東芝複合機の接続切り替え 22
ネットワーク検索設定の変更 23
検索条件の絞り込み 23
SNMP設定の変更 24

東芝複合機の複数登録/切り替え

複数の東芝複合機を接続先として登録し、それらを任意に切り替えて接続することができます。

📖 P.22 「東芝複合機の複数登録」
📖 P.22 「東芝複合機の接続切り替え」

■ 東芝複合機の複数登録

ネットワーク内に複数の東芝複合機がある場合は、それらを検索して、新しい接続先として登録できます。ファイリングボックスBackup/Restore Utilityを使用して、各東芝複合機のファイリングデータのバックアップやリストアを実行できます。
新しい接続先の登録は、［接続］メニューの［接続先の検索］から行います。［接続先の検索］をクリックすると、［ローカル検索］ダイアログボックスが表示されます。ネットワーク内を検索し、接続先を登録します。操作のしかたについては、以下のページを参照してください。

📖 P.7 「はじめて起動するとき」

補 足

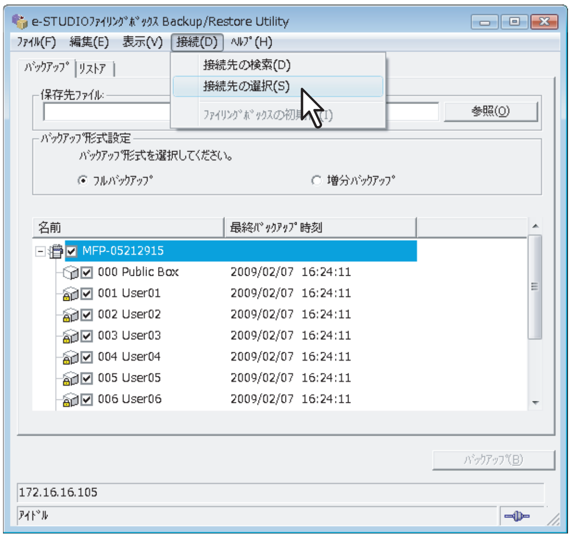
接続リストに接続先を登録すると、接続する東芝複合機を変更できます。接続先の変更は［接続］メニューから［接続先の選択］を選択します。

📖 P.22 「東芝複合機の接続切り替え」

■ 東芝複合機の接続切り替え

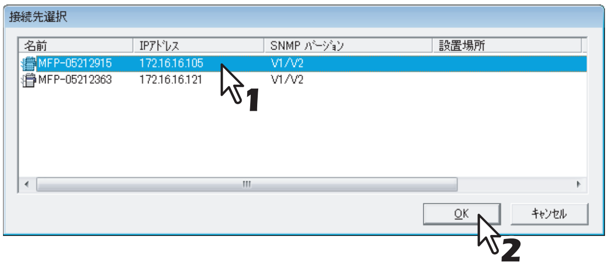
接続先を複数登録した場合、ファイリングボックスBackup/Restore Utilityを使ってバックアップまたはリストアの対象となる東芝複合機を変更できます。

1 ［接続］メニューの［接続先の選択］をクリックします。



［接続先選択］ダイアログボックスが表示されます。

2 接続する東芝複合機を選択し、［OK］をクリックします。



接続先の東芝複合機を変更し、［ファイリングボックスBackup/Restore Utilityログイン］ダイアログボックスが表示されます。

ネットワーク検索設定の変更

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityを使用して、はじめて東芝複合機に接続するときや、東芝複合機を追加登録するときは、ネットワーク上で目的の東芝複合機を探し出す必要があります。

📖 P.7 「はじめて起動するとき」
📖 P.22 「東芝複合機の複数登録」

このときネットワーク上に多くのクライアントが存在すると、検索処理にかかる時間が長くなることがあります。この場合は、［検索設定］ダイアログボックスで検索条件を絞り込むことができます。

📖 P.23 「検索条件の絞り込み」

また、お使いの東芝複合機に設定されているSNMP設定が原因で、東芝複合機を検出できないことがあります。この場合は［SNMP設定］ダイアログボックスを表示し、設定の確認または変更を行ってください。

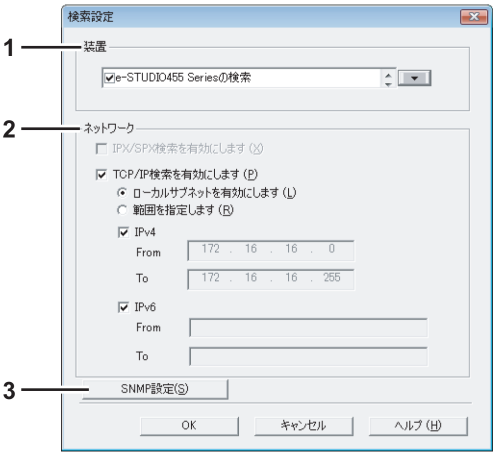
📖 P.24 「SNMP設定の変更」

注 意

お使いの東芝複合機のSNMP設定については、管理者にお問い合わせください。

■ 検索条件の絞り込み

［ローカル検索］ダイアログボックスで［検索設定］をクリックして、検索設定を行います。



1) 装置

ドロップダウンボックスから検索したい東芝複合機のチェックボックスをオンにします。

2) ネットワーク

「IPX/SPX検索を有効にします」

ファイリングボックスBackup/Restore Utilityは、IPX/SPX接続をサポートしていないため、この項目は無効になります。

「TCP/IP検索を有効にします」

TCP/IPネットワークに接続されている東芝複合機を検索する場合にオンにします。お使いのコンピュータにTCP/IPプロトコルがインストールされているときにのみ、使用できます。
この項目を有効にしたときは、TCP/IPネットワークでどのように東芝複合機を検索するかを選択します。

- **ローカルサブネットを有効にします**：ローカルサブネットの東芝複合機を検索する場合にオンにします。
- **範囲を指定します**：IP アドレスの範囲を指定して東芝複合機を検索する場合にオンにします。これを選択した場合は、
  「From」および「To」ボックスにIPアドレスをそれぞれ入力し、検索範囲を指定します。
- **IPv4**：IPv4アドレスで設定された東芝複合機を検索する場合にオンにします。
- **IPv6**：IPv6アドレスで設定された東芝複合機を検索する場合にオンにします。

3) ［SNMP設定］

SNMP設定の確認または変更を行う場合にクリックします。

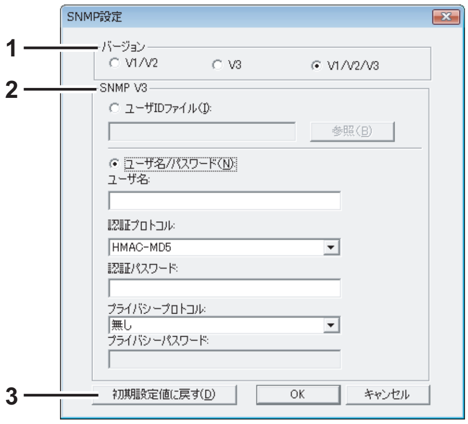
📖 P.24 「SNMP設定の変更」

■ SNMP設定の変更

目的の東芝複合機をネットワーク上で検出できない場合は、SNMP設定が原因の可能性があります。［SNMP設定］ダイアログボックスでSNMP設定が正しいことを確認し、必要であれば設定の変更を行ってください。ダイアログボックスを表示するには、［マニュアル登録］（📖 P.9）または［検索設定］（📖 P.23）ダイアログボックス上で［SNMP設定］をクリックしてください。

注 意

お使いの東芝複合機のSNMP設定の変更については、管理者にお問い合わせください。



1) バージョン

お使いの東芝複合機に設定されているSNMPバージョンを確認し、以下の中から選択してください。

- **V1, V2**：SNMPv1およびv2を有効にします。
- **V3**：SNMPv3を有効にします。
- **V1/V2/V3**（［検索設定］ダイアログボックスのみ）：SNMPv1、v2およびv3を有効にします。

注 意

SNMPv1/v2環境下でお使いの東芝複合機を検出するには、東芝複合機に設定されているコミュニティ名が「public」である必要があります。詳しくは、管理者にお問い合わせください。

2) SNMP V3

SNMPv3を使用する場合は、ユーザ認証の方法をオプションボタンで選択します。

ユーザIDファイル：ユーザIDファイルでの認証を行います。［参照］をクリックしてユーザIDファイルを指定してください。

ユーザ名 / パスワード：ユーザ名およびパスワードでの認証を行います。この認証方法を使用する場合は、以下の項目を入力または選択してください。

- **ユーザ名**
- **認証プロトコル**
- **認証パスワード**
- **プライバシープロトコル**
- **プライバシーパスワード**

注 意

- 「SNMP V3」を選択する場合は、事前にネットワーク管理者から認証方法についての確認を行ってください。
- ユーザ名、認証パスワード、プライバシーパスワードは、それぞれ32文字以内の半角英数字で入力してください。

3) ［初期設定値に戻す］

クリックすると、現在の設定値がリセットされて初期設定値へ戻ります。

索引

I

IPX/SPX検索を有効 23
IPアドレス
　IPv4 9
　IPv6 9

S

SNMP V3 24
SNMP設定 24
［SNMP設定］ 9, 23
SNMPバージョン 24

T

TCP/IP検索を有効 23

か

開始日時 17

く

繰り返し間隔 17

け

検索開始 7
検索条件 23
［検索設定］ 8, 23

こ

コンテンツウィンドウ 11

し

［初期設定値に戻す］ 24

す

ステータスバー 11

せ

接続先の検索 22
接続先の選択 22
接続メニュー
　接続先の検索 11
　接続先の選択 11
　ファイリングボックスの初期化 11
設置場所 9
設定 17

そ

増分バックアップ 11, 13, 16

に

認証パスワード 24
認証プロトコル 24

は

バージョン 24
はじめに 1
バックアップ
　自動 15
　手動 12
バックアップ形式設定 11
バックアップ情報 11
バックアップタブ 11

ひ

表示メニュー
　更新 11

ふ

ファイリングボックスの初期化 20
ファイルメニュー
　自動バックアップ 10
　終了 10
　バックアップ 10
　リストア 10
プライバシーパスワード 24
プライバシープロトコル 24
フルバックアップ 11, 13, 16

へ

ヘルプ
　バージョン情報 11
　ヘルプ 11
編集メニュー
　すべてクリア 11
　すべて選択 11

ほ

保存先ファイル 11

ま

マニュアル登録 9

め

名称 9
メインウィンドウ 10

ゆ

ユーザIDファイル 24
ユーザ名 24
ユーザ名 / パスワード 24

り

リストア 18
リストアタブ 11

ろ

ローカル検索 7

FC-5520C/6520C/6530C
FC-2330C/2830C/3520C/4520C
DP-2520/3570/4570
DP-6550/7550/8550
OMJ080027C0

東芝デジタル複合機
Backup/Restore Utility 取扱説明書

＜開発・製造元＞
東芝テック株式会社

＜販売元＞
東芝テックビジネスソリューション株式会社

R071220F1003-TTEC
Ver03 2009-03

©2008, 2009 TOSHIBA TEC CORPORATION All rights reserved